

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ!!  
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



藤の香りを楽しむ初めて訪れた市民

### 晩春を彩る満開の藤の花

#### ■東光寺長藤まつり

東光寺長藤まつりが4月17日から30日まで開催され、会場には市内外から訪れた多くの来場者でにぎわいました。

市指定天然記念物である東光寺の長藤は、大正4(1915)年に磐田市の行興寺から譲り受けた「熊野の長藤」の一枝から始まり、現在樹齢100年を超えています。期間中は、地元保存会によるおでんや長藤餅などが販売。夜間には20メートル四方に広がった藤棚のライトアップにより、藤の甘い香りとともに幻想的な雰囲気をつくり出しました。

### 自らの手で地元の特産を摘む

#### ■茶摘み体験とお茶の天ぷらを味わう会

萩間小学校3年生21人は4月25日、茶摘み体験とお茶の天ぷらを味わう会を行いました。

これは1年間を通してお茶について学ぶ授業の一環。講師である野々本すみゑさんの「子どもたちが大人になってからも地元に残ってほしい」という思いから始まり、今年で17年目を迎えます。

児童は摘んだ茶葉の枚数を競ったり、匂いをかいだりとしみながら摘んでいました。体験後には、摘み取った茶葉を学校へ持ち帰り、天ぷらにして季節の味を頬張りました。



うれしそうに天ぷら用の茶葉を摘み取る児童

### 新小学1年生に交通安全を呼びかけ

#### ■新入学児童に対する交通安全キャンペーン

市や牧之原警察署、市交通指導員会などは4月9日、萩間小学校の新1年生を対象として、交通安全キャンペーンを行いました。

これは春の交通安全運動の一環で、毎年市内小学校の新1年生とその保護者に交通安全を呼びかけるもので、今年度は同校が対象です。

市長らは、防犯ブザーや反射材など交通安全や防犯などに関する啓発グッズを配付し、交通事故に気を付けることや知らない人についていかないようにすることなど呼びかけました。



啓発グッズを手渡して交通安全を呼びかける杉本市長



第一便のバスに乗り込む利用者

### 社員用バスが新たな「地域の足」へ

#### ■「矢崎アローライン」出発式

矢崎部品株式会社ものづくりセンターは4月11日、「矢崎アローライン」出発式を行いました。

これは本市と菊川市への地域貢献として、同センターと菊川駅を結ぶ従業員送迎バスに、登録者が運賃無料で乗車できるようにしたものの。移動時間の短縮や経済的な負担軽減につながります。

運行開始を記念したセレモニーでは、西部方面の中学校・高等学校に通学する学生などのバス利用者や両市長など関係者が出席し、午前7時10分発の菊川駅行き第一便の見送りを行いました。



開園式にて、お祝いの歌を贈る年長園児

### 地域に愛され信頼される園を目指して

#### ■細江保育園開園式

令和6年度末に指定管理期間が終了した細江保育園(横井範子園長)は、4月1日から市社会福祉事業団に民間移管されました。

民営化については、令和5年度に公立保育所民間移管審査委員会により妥当性や適格性が審査されました。

4日、入園式に先立って行われた開園式には新入園児13人と保護者が出席。事業団の杉本基久雄理事長は「子ども一人一人を大切に、保護者や地域に愛され信頼される園を目指す」と話しました。

### 地域を守る新たな顔ぶれ入団

#### ■令和7年度牧之原市消防団辞令交付式

市消防団辞令交付式が4月6日、静波体育館で開催され、観閲者である杉本市長や静岡市消防局牧之原消防署長などが出席しました。

今年度の新入団員は30人で、新入団員代表として第七分団所属の名波龍太さんが神崎克典団長から辞令書の交付を受けました。

神崎団長は「多くの地方自治体で消防団員が減っている中、たくさんの人に入団いただけたことを嬉しく思う。地域を守る仲間として一緒に活動していこう」と話しました。



神崎団長から班長辞令を受ける代表者

### サッカー関係者に新グラウンドをお披露目

#### ■人工芝グラウンド完成記念「サッカーフェスティバル」

人工芝グラウンド完成記念「サッカーフェスティバル」が3月30日、相良総合グラウンドで開催されました。

これは市内初の人工芝グラウンド完成を記念し、市スポーツ協会サッカー部と榛原サッカー協会が主催で行われました。イベントでは、藤枝MYFCスタッフやルクレMYFC選手によるキッズサッカー教室や少年サッカーの交流戦、年代別の交流試合を開催。真新しいグラウンドでは、参加者の笑顔や掛け声があふれた試合が繰り広げられました。



子どもたちが参加したキッズサッカー教室



テープカットを行う出席者

### 子どもが安心して過ごせる「居場所」

#### ■子ども第三の居場所 開所式・調印式

市は4月3日、「子ども第三の居場所 牧之原拠点」の開所式・調印式を行いました。

同所は榛原児童館(静波区)の隣に建設され、家庭の事情などで保護者による学習補助や生活習慣形成が難しい市内小学生を対象としています。支援員4人が、放課後に児童の学習支援や、創作や遊びなどの機会を提供していきます。

開所に伴い、公益財団法人B&G財団から、開設後3年間の運営費と送迎車両の整備費用について助成を受けました。